

2025年 月 日
 次のとおり、申込みをいたします。(枠内全て記入してください)

「あかし保育絵本土」養成講座（応用コース）受講申込書	
①氏名（ふりがな）	(ふりがな) (氏 名)
②所 属（施設名）・住所・連絡先 ※住所や連絡先は、所属施設のものをご記入ください。 ※■の項目を全てご記入ください。 ※メールアドレスは、受講通知や課題等の送付に 利用いたします。	■施設名
	■郵便番号(〒) ■住 所
	■Eメール:
	■電話番号: ■FAX 番号:
③所属施設の種別 ※該当するものに○印をつけてください。	・公立 ・私立 ・幼稚園 ・認定こども園 ・保育所(園) ・小規模保育事業所 ・その他()
④現在の担当クラス ※フリーや施設長の場合は、その旨を記載してください。	() 歳児クラス ・ () 名
⑤保育者としての経験年数	() 年 () か月
⑥基礎コース受講後について 基礎コースを受講後、絵本を通して、ご自身や子ども(クラス)が変わったと感じることや、日常の保育に活かそうと取り組んでいること(取り組んだこと)などをお書きください。	

本のまち明石  応用コース

「あかし保育絵本土」 (応用コース) 養成講座

— ひびきあう保育のために —

**第5期生
 募集**

絵本をきっかけに、保育者・乳幼児・保護者など保育の場に集うすべての人が、ともにひびきあい、育ちあうよう、保育環境の充実を図るため、明石市オリジナルの資格制度として、「あかし保育絵本土」養成講座の応用コースを開講します。

絵本を仲立ちにして、乳幼児の豊かで伸びやかな育ちを支えるために、基礎コースで習得した保育者としての「絵本を選ぶ力」、「絵本を乳幼児に読む力・読みあう力」、「絵本の読みあいの様子を分析・省察し、記録する力」を実践で活用できるよう、さらなるスキルアップを目指します。修了者を「あかし保育絵本土」(マスター)として認定します。

- 対象者
 本講座の**基礎コース認定者**で、原則として、明石市内の幼稚園又は認可保育施設(保育所(園)、認定こども園、小規模事業所)に勤務する幼稚園教諭(園長も可)と保育士、保育教諭(施設長も可)
- 定 員
 10名(申込みが10名を超えた場合は、選考となります。)
- 申込期間

2025年 7月10日(木) ~ 7月25日(金) 必着



- 受講料・認定料
 無 料
- 申込み先(お問合わせ)
 ・申込みは、電子申請(右下の二次元コード)から。
 ・電子申請が難しい場合は、郵送(庁内便可)、メール又はFAXでお送りください。

「あかし保育絵本土」とは?
 絵本を通して一人ひとりの子どもと向きあい、それぞれの子どもの個性に合わせたきめ細やかな保育ができる保育者

〒673-8686 明石市中崎1丁目5番1号 明石市役所分庁舎5階
 明石市政策局プロジェクト推進室 本のまち担当 「あかし保育絵本土」係
 Eメール: hon_akashi@city.akashi.lg.jp
 TEL: 078-918-5209 / FAX: 078-918-5136



2025年度 プログラム(応用コース)

■受講（選考結果）のお知らせ

8月8日(金)までに連絡します。受講者には、事前課題等をお送りします。

■開催日、開催時間、開催場所（予定）

※変更の場合は受講者にお知らせします。

	開催日	開催時間(休憩含む)	開催場所
第1回	10/ 2(木)	15:00~18:00	パピオスあかし 5階 多目的ルーム
第2回	11/ 5(水)	14:40~18:00	パピオスあかし 5階 多目的ルーム
第3回	2026年 1/ 7(水)	15:00~17:40	パピオスあかし 5階 多目的ルーム

※自然災害等の不測の事態が生じた場合は、講座日程の延期または中止することがあります。

■講師

氏名	所属	専門分野
佐々木 晃	鳴門教育大学 教授	幼児教育学・保育実践学
佐々木 宏子	鳴門教育大学 名誉教授	乳幼児教育・心理学
徳永 満理	おさなご保育園 理事長	保育学
松本 崇史	おおりの森こども園 園長	保育学

■認定の基準

- 原則として、全講義の受講と課題(事前・事後)の提出が認定の前提条件です。
(やむを得ず欠席する場合は、講義の動画と資料をお渡しします。※欠席は1回限り)
- 講義及びワークショップでの成績、出席状況、レポート(課題)等を総合的に判断します。 ※詳しくは、事務局にお問い合わせください。



■絵本の読みあいの実践発表について

- 第2回の講座「絵本を読みあうことで子どもの心を知る」では、日常の絵本の実践「絵本の読みあい」について、**受講生による実践記録(文章による実践記録、写真記録、録画・動画記録など方法は任せます)の発表を予定**しています。これは、読みあいの評価を行うのではなく、多様な角度から「子ども理解」を深めていくことを目的としています。
※発表の詳細については、第1回の講座内で説明を行います。
- 講師と様々な経験を持った保育者(受講生)のまなざしを通して、現場での絵本の読みあいに関する課題について、公立や私立、幼稚園や保育所などの種別を越えて、「絵本の読みあい」について一緒に考え、話し合う場を設けるものです。
- 所属施設におかれましては、ご理解、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

科目	回数	開催日	時間(分)	講座内容	講師
絵本を選ぶ力	1	10/2(木)	30	オリエンテーション(自己紹介等を含む)	佐々木宏子 徳永松本
			150	保育実践の中で絵本を活かす ■「子ども主体の絵本の時間は保育をどのように変化させたか」 (協同討議) ー 基礎コース修了後の実践において新しく発見した課題などを共有するために ー 保育の中で子どもが大切にしたい絵本、子どもと保育者がお互いの気持ちを理解し合えた絵本などの実践記録を持ち寄り、新しい課題を議論する。基礎コース修了後、絵本と生活・遊びなどが結びついた印象深い事例などの情報交換を行うとともに、保育の中で絵本が生きる実感を相互確認しながら、新しい課題を提起し、課題解決のための意見交換を行う。	
読む力・読みあう力	2	11/5(水)	200	絵本を読みあうことで子どもの心を知る ■「子どもと絵本とわたし」の新しい発見(保育現場での実践) ー 共有したい問題点を実践記録・写真・録画等により具体的に提示し講師・受講生同士で議論し深める ー 絵本を通じて、受講生が直面している課題や、皆で討議したいと考えている課題をテーマに、その課題解決のための具体的な工夫や取り組みについて、実践発表し意見交換を行う。読みあいを通して、子どもの「個」を活かすための様々な視点や工夫、どのような保育者の視点が子ども主体の保育に結び付けられるのか、実践を通じた発見や分析視点などを情報共有し、日々の実践につなげていく。	佐々木晃 徳永松本 佐々木宏子
分析・省察し記録する力	3	2026年 1/7(水)	130	絵本を通じた実践で保育へのまなざしをみかく ■「課題の再発見から明日の保育へ」(省察) ー 保育者としての観点から絵本の可能性を探る ー 日常の保育の中で、絵本がどのように乳幼児理解につながるのかを考えると、「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「認定こども園教育・保育要領」に、どのように位置づけられるのかを明確にすることで、今後の保育実践に活かしていく。 絵本が、保育・家庭・地域の中で果たす役割を考える。絵本を通して、今、目の前にいる子どもやそれぞれの生活環境について理解を深めることで、一般論やマニュアル的ではない、地域に根ざした生きた保育の創造につなげる。	佐々木晃 徳永松本 佐々木宏子
			30	■「まとめ」(基礎コース及び応用コース) ・講師と受講生と一緒に、子ども理解と実践について、自由な意見交換などを行う。	

- ・講座はいずれも、講義とワークショップです。
- ・各回、講座内容に関する「事前課題」及び「事後課題」(簡易なレポート)があります。
- ・コース修了後、認定者の所属施設には、施設奨励賞をお渡しする予定です。
※奨励賞の詳細は講座内で説明します。